

JINS がニューヨークへ初進出！

## 「JINS at MoMA Design Store, Soho」を期間限定で出店 「JINS Design Project」第4弾、Alberto Meda デザインのメガネを先行発売

株式会社ジズ（東京本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：田中仁、以下 JINS）は、「MoMA Design Store, Soho」内スペースにて、本日 2019 年 5 月 23 日（木）から 8 月 4 日（日）まで pop-up store を展開します。MoMA Design Store, Soho は、アメリカ・ニューヨーク近代美術館（MoMA）が Soho 地区で運営する公式ストアで、MoMA のキュレーターが厳選したプロダクトから雑貨、インテリアまでデザイン性に優れたアイテムを取り揃えています。

pop-up store では、「JINS Design Project（ジズ デザインプロジェクト）」第1弾～第3弾のメガネを取り扱う他、第4弾となるインダストリアルデザイナー Alberto Meda（アルベルト・メダ）と協業したメガネを世界に先駆け先行販売します。



デザインを追求する  
JINS の姿勢が支持され  
pop-up 出店が決定

JINS は、2017 年より“メガネを本質からデザインする”をコンセプトに世界的なデザイナー達との対話を通じてこれからの時代に価値あるメガネを提案する「JINS Design Project」に取り組み、Jasper Morrison（ジャスパー・モリソン）らのデザインしたメガネを発売してきました。そしてこの取り組みを機にイギリス・ロンドンの「the Design Museum」や世界的に多くの読者をもつ建築・デザイン系 Web メディア「Designboom」が選出するデザイン賞のノミネートや受賞を果たすなど、世界的な評価を受けてきました。

今回の pop-up store もこの「JINS Design Project」を通じて、JINS が多くの人の手に届きやすい価格帯で優れたデザイン提供に尽くしていることが MoMA に支持され、出店に至りました。

JINS は現在アメリカ西海岸で 5 店舗を展開していますが、東海岸エリアには今回が初進出となります。世界中の人々が集まるトレンド発信地のニューヨークから、より多くの高感度なお客様に JINS を知っていただく機会となることを目指します。

メガネの似合い度を  
AI が判定する  
ブレインミラーも設置

pop-up スペースでは、メガネの似合い度を AI（人工知能）が自動判定する JINS 独自の鏡「ブレインミラー」を設置。2019 年 1 月より日本で導入を開始し好評を得ている「ブレインミラー」は今回アメリカ初進出となり、お客様に JINSらしい先進的な購買体験を提供します。

また、著名人が選書した 10 冊の本を販売するアメリカの書店「ONE GRAND BOOKS（ワングランドブックス）」（<http://onegrandbooks.com/>）のプロデュースにより、Alberto Meda らデザイナー達が選んだ本も販売されます。

なお、同店で先行販売となる、JINS Design Project 第4弾の Alberto Meda と協業したメガネは、2019 年 7 月 4 日（木）より日本国内で発売されます。※JINS 一部店舗および JINS オンラインショップのみ取り扱い

## JINS at MoMA Design Store, Soho 詳細

【名称】JINS at MoMA Design Store, Soho

【住所】181 Spring Street, NY, NY 10012

【期間】2019年5月23日(木)~8月4日(日) ※営業時間は MoMA Design Store, Soho に準じる

【取扱い商品】JINS×Jasper Morrison メガネ 4型 16種、JINS×Konstantin Grcic メガネ 8型 32種、  
JINS×Michele De Lucchi メガネ 4型 16種、JINS×Alberto Meda メガネ 4型 16種

【価格】\$ 80 ~ \$ 200 ※度付きレンズ代込み

### MoMA Design Store マーチャンダイジングディレクター Emmanuel Plat 氏からのコメント

「JINS Design Project との pop-up store は、MoMA Design Store にとってとても親和性のある取組みだと考えました。JINS Design Project に参加しているデザイナー達は、MoMA に作品が収蔵されている方が3名もいますし、JINS が多くの人の手に届く価格帯で優れたデザインの提供に尽くしているという点は、まさに MoMA Design Store の支持する価値そのものだからです。今回 JINS が私たちと東海岸へ初進出し、ともにアルベルト・メダの新コレクションを紹介できることをとても楽しみにしています。」



pop-up 外観



pop-up 店内



ブレインミラー

## JINS × Alberto Meda 商品詳細



エンジニアリングを学んだ後、素材や構造、最新テクノロジーに対する知識を活かし数多くの優れたプロダクトを手掛けてきた Alberto Meda。自身がデザインを行う上で常に重視しているテーマ“Almost Organic”（ほぼ有機的であること）を掲げ、“関係性からもたらされる美しさ”を、メガネで探究しました。

デザインにおいてはメガネのフォルムから考え始めるのではなく、メガネの構成要素であるフロントとテンプル（つる）という異なるパーツの関係性に着目。両者を繋ぐヒンジ（丁番）のアイデアを作るところからスタート。両者が有機的につながりあい、機能を発揮しながら、見た目はシンプルで軽やかなものとなることを目指しました。

素材は、金属素材を主に使用。全4型のうち「Meda UNO（ウノ）」「Meda DUE（ドゥエ）」は流麗なフォルムを生み出すアルミニウムを、「Meda TRE（トレ）」「Meda QUATTRO（クアトロ）」は軽くしなやかなチタンを使用し、それぞれの金属素材と、金属でない異素材をどのように組み合わせるかというデザインの可能性を探求しました。カラーリングも素材の特性を考慮し、金属素材の光沢感が活きるものになるようリサーチを重ね、軽やかさとエレガントさを感じるラインアップにしました。

「機能とともにあるさまざまな関係性にこそ、プロダクトの本質的な美が宿る」という考えを体現したメガネは、見た目も掛けごちも軽やかで、快適なプロダクトとなりました。



Meda UNO



Meda DUE

カラー：ダークネイビー、ボルドー、ガンメタル、マットブラック

カラー：ダークグリーン、ダークネイビー、グレー、マットブラック

フロントにアルミニウム、テンプルに肌あたりを考慮した軽量樹脂 TR-90 を用いました。

サイドに施したスリットもポイントとなり、異素材のコンビネーションでありながら限りなく一体感のある美しさを実現しています。



Meda TRE



Meda QUATTRO

カラー：ブルー、コッパー、シルバー、マットブラック

カラー：ライトブルー、ブロンズ、シルバー、マットブラック

フレームにシート状の薄いβ-チタンを用い、しなやかで軽い掛けごこちです。ヒンジは耐摩耗性に優れたプラスチックパーツで、

ネジがない構造なので緩まずカチッとクリック感のある開閉ができます。機能が生み出す美しさを感じることでできるデザインです。

【商 品 名】JINS × Alberto Meda

【ラ イ ン ア ッ プ】4 型 16 種

【発 売 日】2019 年 5 月 23 日（木）よりアメリカ先行発売、2019 年 7 月 4 日（木）より日本国内販売

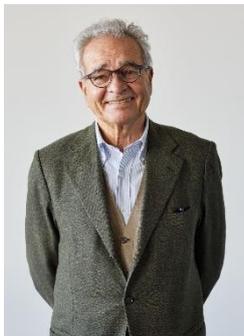
【価 格】アメリカ国内 \$ 200、日本国内 ¥ 18,000（+税）※度付きレンズ代込

【日 本 国 内 販 路】日本国内 JINS 74 店舗限定、JINS オンラインショップ（<https://www.jins.com>）

※取り扱い店舗は 7 月 4 日（木）以降特設サイトよりご覧ください。

【特 設 サ イ ト】<https://designproject.jins.com/jp/ja/>

## Alberto Meda (アルベルト・メダ) プロフィール



©Nacása & Partners  
(Meda UNO)を着用)

インダストリアルデザイナー。

1945 年イタリア・トレメッツィーナ生まれ。ミラノ工科大学で機械工学を学ぶ。

1973 年よりインテリアブランド Kartell にてテクニカルマネージャーを務めた後、

1979 年よりフリーランスのデザイナーとし、Alfa Romeo Auto、Alias、Alessi、Luceplan、Olivetti、Vitra など幅広い企業にデザインを提供。1996 年に Vitra から発表された「メダ・チェア」を始め、手がけたデザインは歴史と権威を誇るイタリアのデザイン賞「ADI コンパッソ・ドーロ・アワード」を多数受賞している。

1983 年から 1987 年まで、ミラノのドムスアカデミーでインダストリアル・テクノロジーに関する講師を務めたほか、レクチャー、ワークショップを各国で行う。

2016 年よりミラノ工科大学 科学委員会メンバー。